

会社経営に意欲を持つ若い世代が投資を募り、自身に合った企業を探して買収する「サーチアンプド」。

地方の中小 悩む事業承継

「サーチアンプド」に脚光 意欲ある若手投資受け買収

この米国発の投資モデルが、日本の中小企業が直面する事業承継問題の解決策の一つとして注目を集めている。山口県・山口県下関市)は今年2月に全国で初めてこの仕組みを使った事業承継を実現。他の金融機関にも取り組みが広がっている。

「この工場を使うのも今月まで。もうすぐ別の場所に移転します」山口Gのサーチアンプド第1号案件として、北九州市若松区の土木工業業「塩見組」の経営を引き継いだ渡辺謙次社長(39)は、広い本社を買渡した。

従業員約40人の同社建物の基礎となるべく打ちを強みとする。だが、渡辺さんが就住するまで本社の敷地内には、工事用の鋼管や油圧ホースが山積みになり、在庫が正確に把握しにくい状況にあった。渡辺さん

人は部置き場の整理に乗る方策を打ち出した。北九州市とは縁もゆかりもな

り出し、一つに番号を振りインターネットで管理

渡辺さんは東京出身。北九州市とは縁もゆかりもな

これにより無駄な部置を注もなく、在庫も大幅

む印刷会社を手伝いながら

に圧縮。同じ若松区内の埋

め立て地に本社移転後は、

ひろは現在の約2万6千平

方から半減し、賃料を年

約3千万円削減できる。

「本社移転は経営効率化

サーチアンプドのセミナー

に参加。山口Gなどによ

頼もしい」。会長として経

る面談を経て第1号の「サ

ーチャー」として登録した。

渡辺さん(37)も後継者

は部置き場の整理に乗る方策を打ち出した。北九州市とは縁もゆかりもな

り出し、一つに番号を振りインターネットで管理

渡辺さんは東京出身。北九州市とは縁もゆかりもな

これにより無駄な部置を注もなく、在庫も大幅

む印刷会社を手伝いながら

に圧縮。同じ若松区内の埋

め立て地に本社移転後は、

ひろは現在の約2万6千平

方から半減し、賃料を年

約3千万円削減できる。

「本社移転は経営効率化

サーチアンプドのセミナー

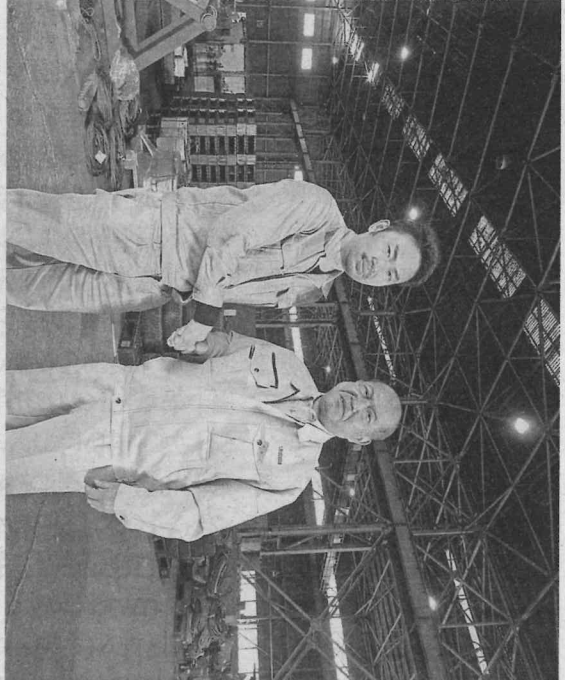
に参加。山口Gなどによ

頼もしい」。会長として経

る面談を経て第1号の「サ

ーチャー」として登録した。

渡辺さん(37)も後継者



渡辺謙次社長(左)と末吉政人会長



も高い」と見込んだ。19年調整。時には個別に飲食に2月から本格化した両者の誘って本書で語り合い、社内融和を図っていた。

大きな経営判断が必要なら、承継が決まった。

ただ、塩見組生え抜きの従業員たちの思いは複雑だ

つたもった。約40人のうち

に。渡辺さんの就任後に数

人が退職し、9月には長年

渡辺さんは「会社経営で

はあちこちに利害関係が生

じい人ではとても対応し

きれない。サポートがある

を受け入れたのは長年取引

のある山口Gのサポート

が大きいという。山口G担

執行役員CIO(最高情報

責任者)はこれからも一心

同体のつもりで支えてい

くを強調する。(向井大慶)

を吟味することができる。

山口Gには事業承継の

問題が深刻化する地方銀行

などからの問い合わせが増

えているという。同様の取

り組みも生まれており、日

本政策投資銀行は1月に10

億円規模のサーチアンプド

を設立。合併・買収(M&A)

を仲介する日本M&A

ゼンター(東京)との共同

運営で、全国の中小企業を

対象にしたサーチャーの募

集に乗り出している。

政投銀の担当者は「米国

流のサーチアンプドは日本

になじまないとみていた

が、塩見組の事例を知って

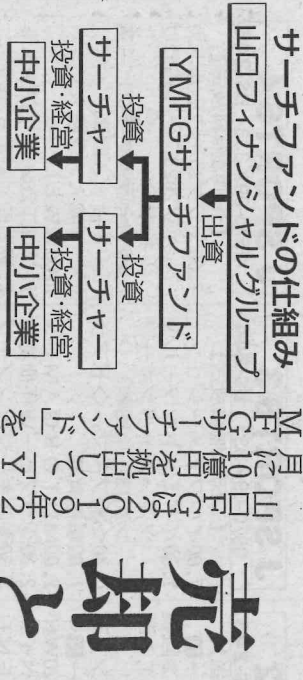
考えが変わった。これから

全国規模の市場をつくって

いく中で、山口Gと協力

することも検討していき

たいとしている。



売却と違い相性重要

山口Gは2019年2月に10億円を抛出して「YMF Gサーチアンプド」を設立。塩見組の事業承継で「サーチャーの渡辺さん」が設立した個人会社「ミドリ・ストリート」に同グループが出資。ミドリ・ストリートが塩見組の全株を取得した。サーチャーの選考は、ウハウホのある「ジャパン・サーチアンプド・アクセラター」(JasFA、東京)と共同で行う。サーチャー選びでは面談を繰り返しながら、地方移住や中